

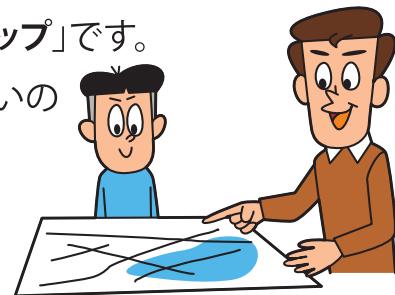
1

住んでいる地域でどんな災害の危険性があるか知っていますか？

災害の危険性について、その手がかりとなるのが「ハザードマップ」です。

マップの種類も、洪水・土砂災害・地震・津波・高潮などお住まいの地域の特徴によって数種類あります。

お住まいの市町村で作成しており、配布方法はいろいろです。
各市町村へお問い合わせ下さい。



■ 国土交通省ハザードマップ ポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

重ねるハザードマップ
～複数のリスク情報を重ねて確認する機能～
洪水・土砂災害・地震などのリスク情報、洪流水文情報、土地の特徴、成り立ちなどを利用して自分に必要な表示できます。

地図を表示する
例：都道府県ごとに表示する／国土総理部

表示する情報を選択
洪水 土砂災害 地震

洪水（日雨量別）はこら
日本（都道府県）：昭和56(1981)年5月31日以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しています。また、昭和56(1981)年6月1日以降に着工された家であっても経年劣化しますので、定期的な点検（耐震診断を含む）を受けることをお勧めします。

わがまちハザードマップ
～地元のハザードマップを表示する～
各市町村が作成したハザードマップをリンクします。地元との連携のハザードマップを実現できます。

地図を表示する
まちを選び
都道府県：都道府県 村：市区町村

日本（都道府県）：昭和56(1981)年5月31日以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しています。また、昭和56(1981)年6月1日以降に着工された家であっても経年劣化しますので、定期的な点検（耐震診断を含む）を受けることをお勧めします。

2

自宅は地域で想定されている地震に対し十分な耐震性がありますか？

阪神・淡路大震災では6,434人の尊い命が奪われました。このうち、地震による直接的な死者数は5,502人。その約9割の4,831人が住宅・建築物の倒壊などによるものでした。県内市町村では、昭和56(1981)年5月31日以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しています。また、昭和56(1981)年6月1日以降に着工された家であっても経年劣化しますので、定期的な点検（耐震診断を含む）を受けることをお勧めします。

そな 備える ポイント！

愛知県がホームページで公開している「愛知県防災学習システム」で、大地震が起きたときの、自宅の様子をシミュレーションできます。

<https://www.quake-learning.pref.aichi.jp>

愛知県
トップページ 更新履歴 利用規約 このページの使い方

愛知県
防災学習システム

防災マップ
建物倒壊シミュレーター
地域防災マップ
ビデオ教材

お住まいの地域周辺の防災マップを見ることができます。自分の家をどうやってみんなで書き込むことができるマップです。

東海・近畿海地震が起こった地域の災害弱化安全情報を、防災に関する各種ビデオコンテンツ、みんなで書き込むことができるマップです。

